

門真団地での地域PBLの実践

経営経済学部 経済学科「プロジェクト演習Ⅲ」受講学生

×

新門真住宅自治会

×

門真市 都市政策課・地域政策課

担当：経営経済学部 経済学科 小竹森 晃

「プロジェクト演習Ⅲ」の概要

- この授業は、PBL（課題解決型学修）の手法を用いた授業で、受講学生同士で4人程度のグループを作り、政策過程をベースに、地域の調査や課題解決の企画を創造し、実践しています。
- 地域との「信頼関係」を基に、このPBL授業は成り立っています。
- 地域というフィールドを提供頂き、学生（教員）は「活きた学び」を得ています。
- また、地域の方々との協働を通じて、課題解決を「自分ごと」として考え、実践しています。

門真団地への訪問（問題の気づき）



現場に足を運び、学生の五感や、住民の方のお話などの「活きた情報」を得ることからはじめています。

門真団地への訪問（課題設定・政策立案）



現場の「活きた情報」を基に、課題設定と課題解決の方法をグループで考え、**地**域の方々に立案していきます。

課題解決の実践（政策実施）①



門真団地の方々で大盛り上がり！

みんなで集合写真♪

住民の方々の集いの場「トランプ大会」を企画・運営しました。

課題解決の実践（政策実施）②

- 2025年度の門真団地は、約60年前に建てられた団地から、新築の団地へのお引越して大変な年度でした。
- 約60年の思い出を、学生（孫）14人が、門真団地の方々のお宅を訪ね、計56人の方々に「門真団地の思い出」について突撃インタビューしました。



課題解決の実践（政策実施）②



突撃インタビューでの記念写真★



課題解決の実践（政策実施）③

大阪国際大学 学生からのお知らせ！！

5・6月に、学生（孫）14人が、門真団地の方々のお宅を訪ね、計56人の方々に「門真団地の思い出」についてお話を伺うことができました。

ついでに、「門真団地の思い出発表会」を、以下の日時に行いますので、学生（孫）の発表を聞きに来てください♪

日にち：12月11日（木）・18日（木）

時間：11：10～11：50

場所：新門真住宅集会所



★学生（孫）からのお願い★

門真団地のみなさんとお会いできるのを楽しみにしていますので、集会所に集まって来て下さい♪



◆♠7月10日「トランプ大会」集合写真♡♠◆

2025年度 大阪国際大学 経営経済学部 経済学科「プロジェクト演習Ⅲb」受講学生

門真団地思い出発表会



- ・性別：
- ・棟、号
- ・住んで
- ・きった
- ・あたっ
- ・思い出
- ・困って
- ・感想：
- ・でいて
- ・と感じ



課題解決の実践（政策実施）④

 **大阪国際大学
キャンパスツアー！**

門真団地のみなさんへ

学生（孫）達のキャンパスへ来て下さい♪

日にち：2026年1月15日（木）

時間：11：00～13：30

10：30～11：00 門真団地へ

11：00～11：30 大学へ

11：30～13：00

学生食堂での昼食、キャンパス見学など

13：00～13：30 門真団地へ

13：30～14：00 大学へ

 

2025年度 大阪国際大学 経営経済学部 経済学科「プロジェクト演習Ⅲb」受講学生



大阪国際大学 キャンパスツアー

番外編 守口市「ライフデザインセミナー」

○ 門真団地はお引越して大変な年度でしたので、秋は活動ができませんでした。

○ タイミング良く？守口市 人権市民相談課からオファーがあり、以下の市民活動団体の活動をヒアリングし、多くの市民に知ってもらう活動をさせて頂きました。

- 守口市民生委員児童委員協議会
- 守口地区保護司会
- 守口地区人権擁護委員



開催しました ライフデザインセミナー

問 人権市民相談課

TEL 06-6992-1512

令和7年11月9日に中部エリアCCにて、若い世代に、地域のことや、市民団体の活動を知ってもらい、ライフデザインを考えるきっかけづくりを目的として、ライフデザインセミナーを開催しました。

大阪国際大学の学生9人が守口市民生委員児童委員協議会、守口地区保護司会、守口地区人権擁護委員会の3団体の活動内容を聞き取り、その内容をまとめ、発表しました。学生と市民団体の人で意見交換を行い、「それぞれの市民活動を深く知ることができてよかった」「若い人との交流で新しい発見ができた」といった声があり、有意義なセミナーとなりました。



出典：広報もりぐち2026年2月号14-15頁より引用。

学生の学び（抜粋）

- 門真団地の方々にとっての大学と、私たちにとっての門真団地を考えたときに、普段は当たり前前に過ごしている場所も、誰かにとっては特別な場所になることを、住民の方々との交流で学びました。
- 私たち学生と門真団地の方々との交流を深めることで、より地域は元気になることを学びました。
- PBLは自分から関わろうとする姿勢が重要で、自分自身の行動や考え方をふりかえり、成長につなげる学びであることに気づいた。

学生の学び（抜粋）と教員のコメント

- 門真団地でのPBLを通して、人と関わることの難しさや、相手の立場に立って考えることの重要性に気づいた。
- 実際に門真団地へ赴き、地域で暮らす人達と関わることで、人の話を丁寧に聞き、それを伝える姿勢が重要であることなど、教室の中だけでは気づけないことが多くあった。

【教員のコメント】

門真団地における学生（よそ者・若者・バカ者）のPBL「突撃インタビュー（前期）～門真団地の思い出発表会（後期）」を通じて、門真団地は約60年の年月を経て、人それぞれの生活や記憶が積み重なった場所であることに、改めて気づかされました。

また、2025年度は、門真団地の方々を大学にお招きする「キャンパスツアー」を開催しました。キャンパスに目を輝かせている門真団地の方々を、学生（孫）達がキャンパスを案内している姿を目の当たりにしました。

引き続き、大阪国際大学 経済学科とのお付き合い、よろしくお願い致します。